

## —地域の教育力で未来を創る人材(財)を育てます—

人生100年時代と言われる現在、日本の教育で重視されているのは「予測困難な時代を生きる力」を身に付けることです。そのために必要な力として国の学習指導要領では「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力を柱として、それらの実現のため「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に進めるよう求めています。また、合わせて「地域とともに歩む学校」を目指し、地域の皆さんが参画し、力を合わせて学校の運営に取り組むことも述べられています。これらの国の指針を受けて、町内小・中学校が取り組む芳賀町の教育とその特色をご紹介します。

人口減少

自然災害

予測困難な時代を

# 生きる力

Society5.0

グローバル化

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

学びに向かう力、人間性等

## 個別最適な学び

個別最適な学びで大きな役割を果たすのはICTです。ICTとは情報通信技術のことです。ICTは個別最適な学びに欠かせないもので、一人一人に合わせた学びに活用されています。

### ICTの活用 —タブレット端末や電子黒板の活用—



#### ◀電子黒板での発表の様子(中学生)

調べ学習の発表の授業です。タブレット端末でプレゼンテーションソフトを操作し、電子黒板に映しながら発表を行います。視覚・音声情報を効果的に活用し、分かりやすい発表にしています。



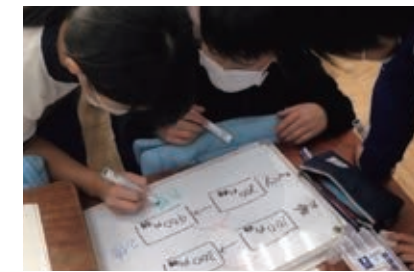
#### ◀理科の授業の様子(小学6年生)

「風を当てるとなぜボールが浮くのか」を考える理科の授業です。実験の様子をタブレット端末のカメラ機能で撮影し、考えるためのツールとして活用しています。

## 協働的な学び

「学び合い」を重視した授業が行われています。話し合ったり、教え合ったりしながら「みんながわかる、みんながわかる」授業を実践しています。

### さまざまな教科で学び合い授業



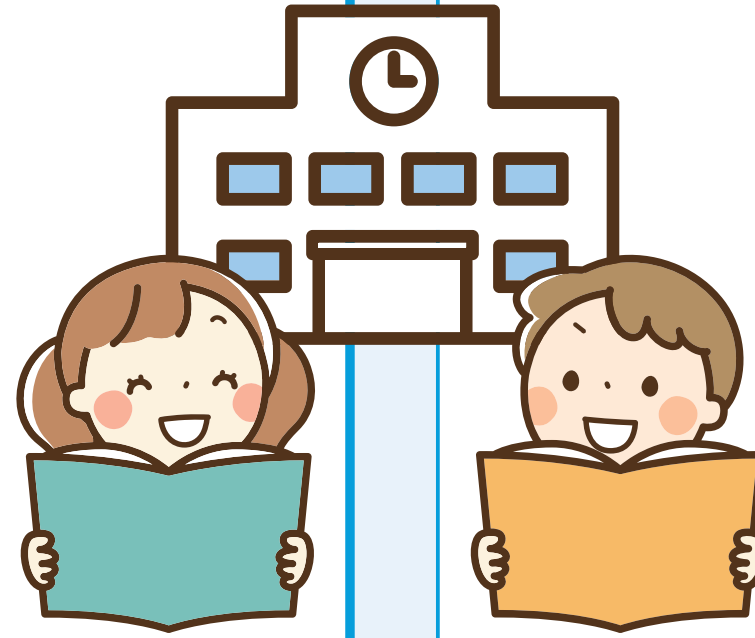
#### ◀算数の授業の様子(小学4年生)

「どちらの野菜の値上がりが大きいか」を考える算数の授業です。グループごとに、値段の差や増加割合を検討し、話し合いながら答えを探っています。



#### ◀英語の授業の様子(中学生)

英語で「自分の好きなもの」を紹介する授業です。紹介の様子をタブレット端末のカメラ機能で撮影し、協力しながらより良い紹介方法を探っています。



芳賀町の特色  
～英語教育～

## イングリッシュ・デイ —ALTとのコミュニケーション—

複数のALT(外国語指導助手)と英語によるコミュニケーション活動を行う「イングリッシュ・デイ」を、年間の学習計画に位置づけて実施しています。イングリッシュ・デイには、ALT3人体制で英語の授業を実施。通常の授業以上に、英語のコミュニケーションを取ることができます。現在、小・中学校の全学年を対象に実施しています。

ジョン先生

英語のレベルが上がっていることを実感しています。児童一人一人に合わせて授業を行っています。

ジョイス先生

アドリアナ先生



#### ▲イングリッシュ・デイの様子(小学1・2年生)

授業時間のほとんどを英語のみで進行。英語とジェスチャーによるコミュニケーションで、児童たちも自然と理解し、英語を発しています。楽しみながら、英語に親しんでいます。

## 地域と共に歩む学校 —コミュニティスクール—

学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民の皆さんが参画し、力を合わせて学校の運営に取り組む「地域と共に歩む学校」を目指しています。

児童生徒たちは、学校の中のみならず、地域や地域の皆さんと共にさまざまな学びを得ています。

#### 芳賀東小学校



▲米農家の皆さんと稲刈り



▲お囃子の授業

#### 芳賀北小学校



▲お囃子演奏体験



▲農家さんによる農産物の授業

#### 芳賀南小学校



▲学校ボランティアさんと昔遊び



▲太々神楽鑑賞会

#### 芳賀中学校



▲職業体験マイ・チャレンジ



▲学校ボランティアさんと清掃